

出穂期は前年並～6日程度早まる見込みです

令和5(2023)年7月24日

那須農業振興事務所

【水稻生育診断ほ調査(7/20)結果と今後の管理】

- 出穂期は、前年並～6日程度早まる見込み(北部:8月3日、南部:7月23日)
- 今後の水管理は、間断かん水が基本

○出穂期の予想(7月20日 水稻生育診断ほ調査結果) 品種:コシヒカリ

地域	移植日	幼穂長 (7月20日時点)	予想 出穂期	前年の出穂期
管内北部 (那須町寺子丙)	5/1	2.6 cm	8/3 頃	8/3
管内南部 (那須塩原市一区町)	5/10	19.6 cm	7/23 頃	7/28

注:いずれの地点も全量基肥

参考:出穂前日数と幼穂長の関係

出穂前日数	25日前	23日前	20日前	18日前	15日前	12日前	10日前
幼穂長(mm)	1	2	5	10	20	80	125

○今後の水管理

- 現在の生育ステージは穂ばらみ期～出穂期であり、間断かん水が基本となります。出穂期～開花期は、最も水を必要とする時期なので、こまめな間断かん水を行い、水が不足しないようにしましょう。
- 出穂期～登熟期が高温になると、白未熟粒や胴割粒の発生が多くなります。かけ流し(可能な限り)、または、夕方以降のかん水により地温を低下させる等により、品質の低下を防ぎましょう。
- 急激な湿度低下は、高温障害の発生原因となります。台風通過後の乾燥した強風(フェーン)が予想される場合は、深水管理で高温障害を回避しましょう。

○現在の生育(7月20日 水稻生育診断ほ調査結果) 品種:コシヒカリ

調査地点	移植日	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		葉色		生育診断値		葉齢		幼穂長(mm)	
		本年	前年比(%)	本年	前年比(%)	本年	前年差	本年	前年比(%)	本年	前年差	本年	前年差
管内北部	5/1	81.9	106	403	117	3.3	+0.6	1,343	147	12.9	+0.9	26	-21
管内南部	5/10	98.3	112	421	106	3.6	+0.5	1,498	123	14.1	+0.3	196	+41

【参考】田植え後の気候

アメダス地点	期間	平均気温(°C)			降水量(mm)			日照時間(h)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年比(%)	本年	平年	平年比(%)
黒磯 (管内北部)	5/1~7/20	19.5	18.5	+1.0	485	483	100	480	371	129
大田原 (管内南部)	5/10~7/20	21.6	19.9	+1.7	470	439	107	402	338	119

- 平均気温：平年より北部は 1.0°C 高く、南部は 1.7°C 高い
- 合計降水量：平年に比べ北部は 100% で平年並、南部は 107% で多い
- 積算日照時間：平年に比べ北部は 129%、南部は 119% といずれも多照

○今後の気象

「関東甲信地方 1か月予報」(7/20 気象庁発表)では、平均気温が「高い確率 70%」となっていますので、かけ流し(可能な限り)、または、夕方以降のかん水により地温を低下させる等により、品質の低下を防ぎましょう。

【参考】「関東甲信地方 1か月予報」(7/20 気象庁発表)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 07/22~08/21	10 (低い) 20 (平年並) 70 (高い)
		1週目 07/22~07/28	10 (低い) 30 (平年並) 60 (高い)
		2週目 07/29~08/04	10 (低い) 20 (平年並) 70 (高い)
		3~4週目 08/05~08/18	20 (低い) 30 (平年並) 50 (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 07/22~08/21	40 (低い) 30 (平年並) 30 (高い)
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 07/22~08/21	30 (低い) 30 (平年並) 40 (高い)

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

関東甲信地方 1か月予報 (07/22~08/21)



7月~8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。

熱中症対策の第一歩！ 日中の気温の高い時間帯の作業は控えましょう。